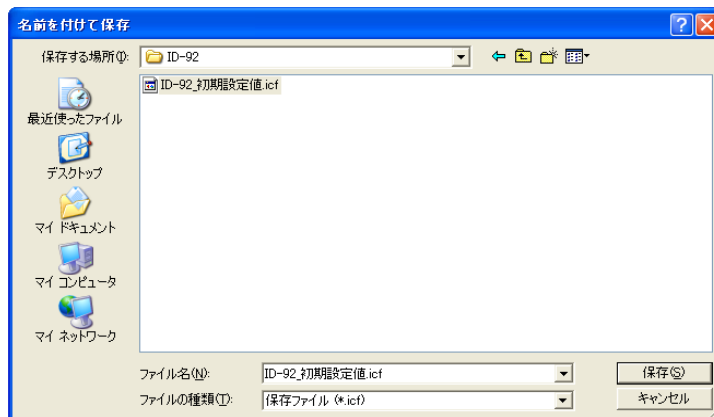
ICOM

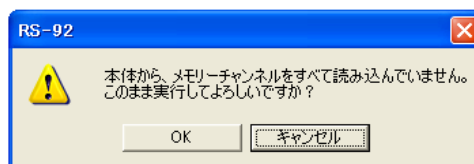
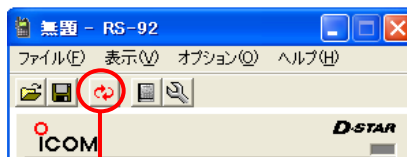
RS-92によるメモリーデータ編集ガイド

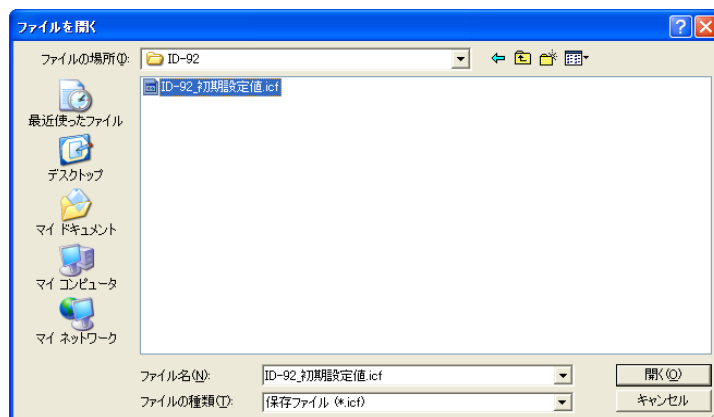
メモリーデータを編集する前に

設定データの保存と読み込みかた

無線機の設定データを消失しないために、最初にID-92の設定データをコンピュータに保存してください。
①RS-92の取扱説明書にしたがってID-92とコンピュータを接続し、RS-92を起動して電源を入れてください。

②メニューバーの［ファイル(F)］→［名前を付けて保存(A)...］を選択してクリックすると、「名前を付けて保存」画面が表示されますので、保存先を選択してファイル名(.icf拡張子名となる)を付けて保存してください。

icfデータは、ID-92の全データ(メモリーチャンネルやGPSメモリー、コールサインなどの全メモリーデータと一部の機能データ)を保存・読み込みをします。

※1. 電源を入れてすぐに保存すると、右記のメッセージが表示されます。

※2. 上記メッセージが表示されたときは［キャンセル］を押して、ツールバーの［本体からメモリー読み出し］ボタンの色が → に変わるまで、お待ちください。

③コンピュータに保存した設定データをID-92に読み込むときは、メニューバーの［ファイル(F)］→［開く(O)...］を選択してクリックすると「ファイルを開く」画面が表示されますので、保存先フォルダから設定データを選択して［開く(O)］をクリックします。または、ツールバーの［開く］ボタンをクリックしても開けます。

または

※読み込み後、本体へ書き込むのに時間がかかりますので、前記※2. と同じくボタンの色が変わるまでお待ちください。

RS-92によるメモリーデータ編集ガイド

~~メモリーデータのダウンロード~~

~~①弊社のホームページの下記サイトからメモリーデータ(RS-92 専用メモリーデータ)をダウンロードします。~~
~~http://www.icom.co.jp/d-starsite/support/download/index.html~~

~~②ダウンロードした下記ファイルをダブルクリックしてデータを解凍します。~~
~~解凍されたデータは、①でダウンロードしたデータと同じ場所に「92_MemoData_J_101122」フォルダが作成されます。~~
~~ファイル名：92_MemoData_J_101122.exe~~

~~更新日によって異なります。~~

メモリーデータのインポート(読み込み)のしかた

使用上の注意点

①インポート、エクスポートおよび編集は、メモリーチャンネルを表示している**シート単位(100チャンネル)**です。
(例)メモリーチャンネル → Bバンド → 全て → **0 – 99、100 – 199、200 – 299 または、 300 – 399**

②インポートでは、選択(表示)しているメモリーチャンネルのシートに上書きします。
※バンクチャンネルに登録しているデータはすべて削除されますので、バンクチャンネルの再登録が必要です。

③バンクチャンネルを選択(表示)してインポートすると、指定したバンクチャンネルに書き込むのと同時にメモリーチャンネルとバンクチャンネルの紐付けとして、メモリーチャンネルの空きチャンネル([0 – 99] シートに空きチャンネルがあれば、そのチャンネル)から書き込んで行きますので注意してください。また、バンクチャンネルから直接登録データを削除すると、メモリーチャンネルのデータも削除しますのでご注意ください。
※バンクチャンネルから直接インポートや削除はしないで、後記の「メモリーデータをバンクチャンネルへ編集するには」にしたがって、登録または削除(バンクチャンネルの「OFF」設定)することをお勧めします。

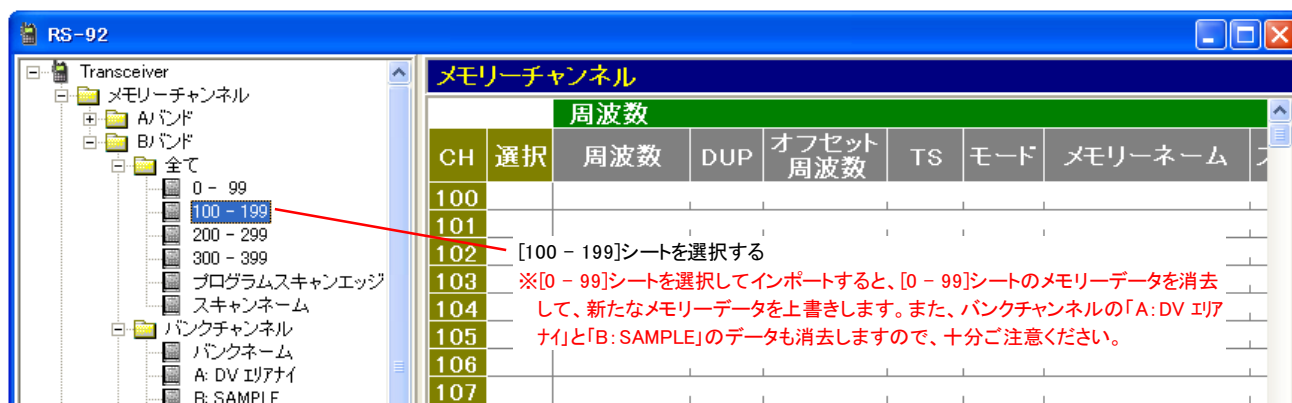
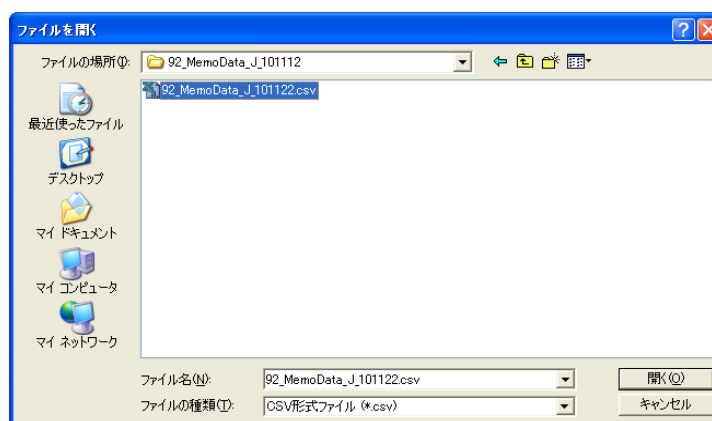
メモリーデータを最新版に更新するには、シート単位(100チャンネル)でレピータ情報をインポートします。
ただし、コンピュータで編集したデータを登録済みのメモリーチャンネルにインポートすると、ID-92に初期設定しているデータに上書きされますので、必ず前記の「設定データの保存と読み込みかた」の②を行ってください。
①メニューバーの [表示 (V)] → [メモリーチャンネル編集(M)...] を選択してクリックし、メモリーチャンネル編集シートを開きます。または、ツールバーの [メモリーチャンネル編集] ボタンをクリックしても開けます。

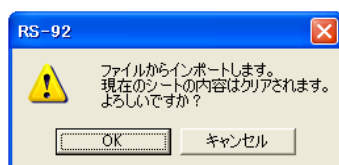
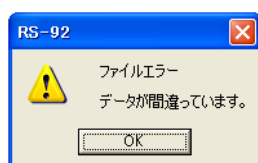
または

[メモリーチャンネル編集]ボタン

RS-92によるメモリーデータ編集ガイド

メモリーデータのインポート(読み込み)のしかた　　続き

②メモリーチャンネル編集シートのツリービューから、インポート先のシートにマウスポインタを合わせてクリックします。
(例)Bバンドの[100 - 199]シートにインポートします。

③メニューバーの[ファイル(F)]→[インポート...]を選択してクリックすると、「ファイルを開く」画面が表示されますので、メモリーデータの保存先「92_MemoData_J_101122」フォルダから「92_MemoData_J_101122.csv」を選択し、[開く(O)]をクリックします。

icfデータがID-92の全データを保存・読み込みするのに対し、csvデータはメモリーチャンネルとGPSメモリーだけ(スキャンネーム、バンクネームは除く、またGPSメモリーはインポートのみ)をシートごとにインポート・エクスポートします。

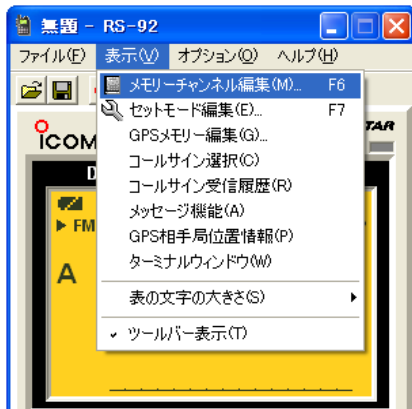
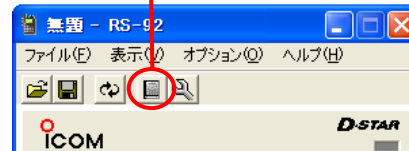
④下記の画面が表示されたら[OK]をクリックします。
メモリーデータに登録されているレピータ情報がRS-92に読み込まれ、インポートは完了します。

※インポートするときに、インポートしたいファイルを開いてると、下記のメッセージが表示されます。
[OK]をクリックしてファイルを閉じ、もう一度③から操作しなおしてください。

※前記の「設定データの保存と読み込みかた」の②を操作し、インポートしたデータに新たな名前を付けて保存することをお勧めします。

RS-92によるメモリーデータ編集ガイド

メモリーデータのエクスポート(データ出力)のしかた

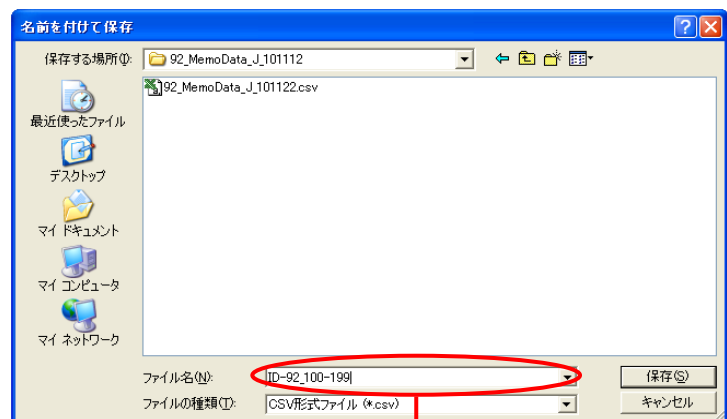
メモリーチャンネルのデータをシート単位でエクスポートして、コンピュータ上で編集・再読み込みができます。

①メニューバーの［表示（V）］→［メモリーチャンネル編集（M）...］を選択してクリックし、メモリーチャンネル編集シートを開きます。または、ツールバーの［メモリーチャンネル編集］ボタンをクリックしても開けます。

または

[メモリーチャンネル編集]ボタン

②メモリーチャンネル編集シートのツリービューから、編集したいメモリーチャンネルのシートにマウスポインタを合わせてクリックします。
（例）Bバンドの［100 － 199］シートをエクスポートします。

CH	選択	周波数	DUP	オフセット周波数	TS	モード	メモリーネーム
100		145.00000		0.00000	オート	オート	
101		433.00000		5.00000	オート	オート	
102		438.01000		5.00000	オート	DV	Simplex
103		434.40000	+DUP	5.00000	オート	DV	ハマチョウ430
104		439.07000	-DUP	5.00000	オート	DV	コウトウ430
105		439.31000	-DUP	5.00000	オート	DV	ニシTKY430
106		439.29000	-DUP	5.00000	オート	DV	コマエ430
107		434.38000	+DUP	5.00000	オート	DV	コウホク430
108		439.21000	-DUP	5.00000	オート	DV	コウナン430

③メニューバーの［ファイル（F）］→［エクスポート...］を選択してクリックすると、「名前を付けて保存」画面が表示されますので、保存先を選択してエクスポートしたデータに新たな名前（.csv拡張子名となる）を付けて［保存（S）］をクリックしてください。

新たな名前を付けて保存する

RS-92によるメモリーデータ編集ガイド

メモリーデータの編集のしかた

エクスポートしたメモリーチャンネルのデータをコンピュータ上で編集し、再読み込みができます。
①エクスポートしたメモリーチャンネルのデータをExcel(csv)で開きます。

インポートするメモリーチャンネル(100-199)の名前にシート名を変更しておけば、後で分かりやすくなります。

②Excelのコピーや貼り付け、置き換え機能を使って、データの変更や追加を行います。
(例)平野レピータから全国のレピータへの接続設定シートを作成します。

※平野レピータ以外は「SKIP」を設定した方が使いやすい。

※Your Call Signはレピータを表す「/」を先頭に入れる。

※RPT1とRPT2 Call Signは平野レピータのコールサインを設定する。

RPT1 Call Sign → JP3YHH

RPT2 Call Sign → JP3YHH　G

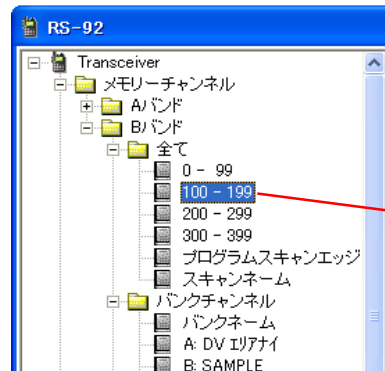
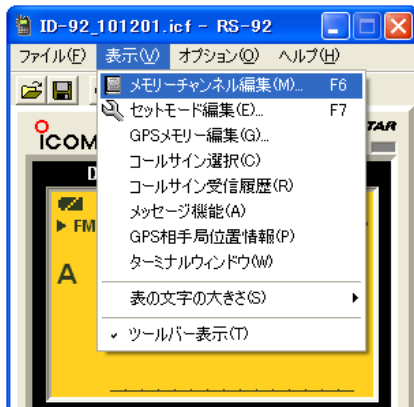
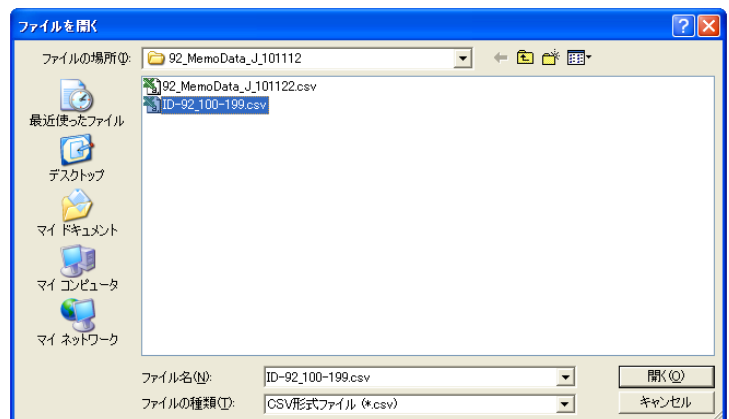
スクロールバーを動かしてシートの右端を表示する。

※A列のCH Noは、「0-99」以外に設定すると無効になる。Excel上では「100－199」CHでも「0－99」と表示する。

※Frequencyは平野レピータの周波数を設定する。

RS-92によるメモリーデータ編集ガイド

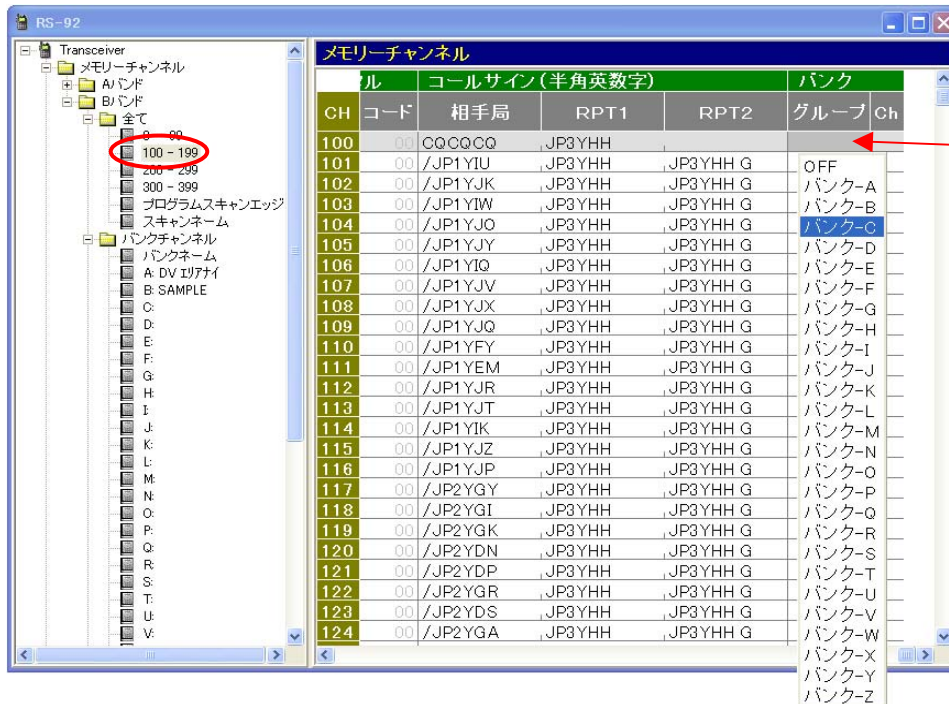
メモリーデータの編集のしかた　続き

③メニューバーの［表示（V）］→［メモリーチャンネル編集（M）...］を選択してクリックしてメモリーチャンネル編集シートを開き、ツリービューからBバンドの［100 － 199］シートにマウスポインタを合わせてExcelで編集した接続設定シートをRS-92のメモリーチャンネル100-199に再びインポートします。

④メニューバーの［ファイル（F）］ → ［インポート...］を選択してクリックすると、「ファイルを開く」画面が表示されますので、接続設定シートの保存先「92_MemoData_J_101122」フォルダから「ID-92_100-199.csv」を選択して［開く（O）］をクリックします。「ファイルからインポートします。」のメッセージ画面が表示されたら［OK］をクリックします。

Bバンドの[100 – 199]シートにインポートした接続設定シート

CH	選択	周波数	DUP	オフセット周波数	TS	モード	メモリーネーム
100	○	439.39000	-DUP	0.00000	オート	オート	ﾋﾗﾉ430
101		439.39000	-DUP	5.00000	オート	オート	ﾊﾏﾁｮｳ430
102		439.39000	-DUP	5.00000	オート	DV	ｺｳﾄｳ430
103		439.39000	-DUP	5.00000	オート	DV	ﾆｼTKY430
104		439.39000	-DUP	5.00000	オート	DV	ｺﾏｴ430
105		439.39000	-DUP	5.00000	オート	DV	ｺｳﾎｸ430
106		439.39000	-DUP	5.00000	オート	DV	ｺｳﾅﾝ430
107		439.39000	-DUP	5.00000	オート	DV	ﾌｼﾞｻﾜ430
108		439.39000	-DUP	5.00000	オート	DV	ｴﾋﾞﾅ430
109		439.39000	-DUP	5.00000	オート	DV	ｲﾅｹﾞ430
110		439.39000	-DUP	5.00000	オート	DV	ﾌﾅﾊﾞｼ430
111		439.39000	-DUP	5.00000	オート	DV	*ｷｻﾗﾂﾞ43
112		439.39000	-DUP	5.00000	オート	DV	ﾅｶﾞﾚﾔﾏ43
113		439.39000	-DUP	5.00000	オート	DV	ﾔﾁﾏﾀ430
114		439.39000	-DUP	5.00000	オート	DV	ｺｶﾞ430
115		439.39000	-DUP	5.00000	オート	DV	ﾂｸﾊﾞ430
116		439.39000	-DUP	5.00000	オート	DV	ﾏｴﾊﾞｼ430
117		439.39000	-DUP	5.00000	オート	DV	ｼｽﾞｵｶ430
118		439.39000	-DUP	5.00000	オート	DV	ﾅｺﾞﾔﾀﾞｲ4
119		439.39000	-DUP	5.00000	オート	DV	ｶｽｶﾞｲ430
120		439.39000	-DUP	5.00000	オート	DV	ﾆｼｵ430
121		439.39000	-DUP	5.00000	オート	DV	*ｺｳﾀ430
122		439.39000	-DUP	5.00000	オート	DV	*ｷﾞﾌｲﾏｻﾜ
123		439.39000	-DUP	5.00000	オート	DV	*ｷﾝｶｻﾞﾝ4
124		439.39000	-DUP	5.00000	オート	DV	*ｷﾞﾌﾔｵﾂ4

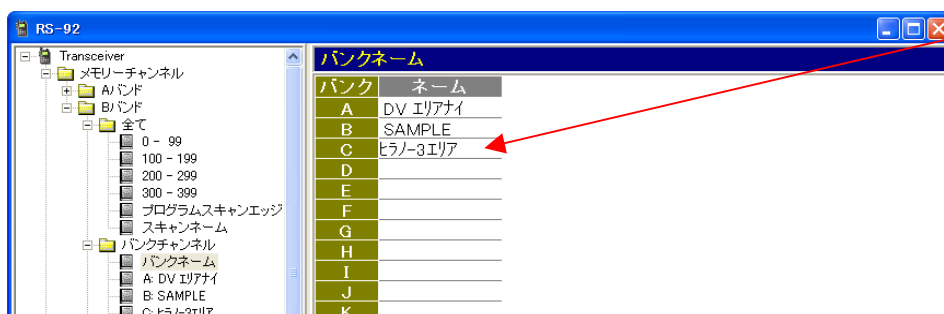
RS-92によるメモリーデータ編集ガイド

メモリーデータをバンクチャンネルへ編集するには

メモリーチャンネルに登録された内容を、用途に合わせてグループ化するバンク(A-Z)があり、それぞれのバンクに100チャンネルを登録できます。
(例)バンクCに3エリアのレピータ情報だけを登録した接続設定シートを作成します。
①編集したい「メモリーチャンネル編集」シートを選択してシートの右端を表示し、バンクチャンネルに登録したいメモリーチャンネルの「バンク」表示部で「グループ」項目欄のセルをダブルクリックして「バンク-C」を選択します。または、コンピュータのキーボードから直接アルファベット「C」を入力しても設定できます。

JP3YHH(平野レピータ)をバンクチャンネルに編集したいときは、ここのセルをダブルクリックする。または、ここのセルをクリックしてキーボードから直接アルファベットを入力する。
※再編集するときに「OFF」を選択すると、バンクチャンネルから削除できます。

②バンクグループ(C)を選択すると、自動的に空きチャンネルから順番に割り当てられますので、チャンネル番号を変更したいときは、「Ch」項目欄をダブルクリックし、新たなチャンネル番号を入力してください。
①、②と同様に操作し、3エリアだけのレピータ情報を選別してバンクチャンネルに登録します。

ここのセルをダブルクリックしてチャンネル番号を入力する。
※選択したバンクグループ、またはバンクチャンネルに空きがない場合、空いているバンクグループ、またはバンクチャンネルが自動的に選択されます。

③[バンクネーム]シートにマウスポインタを合わせてクリックしてシートを開きます。「バンク-C」の「ネーム」項目欄をダブルクリックし、8文字以内でネームを入力します。

ここのセルをダブルクリックしてバンクネームを入力する。

ご参考に
設定できる項目や、その項目についての詳細は、RS-92のヘルプをご覧ください。
ヘルプは、RS-92の[ヘルプ(H)]メニューから「目次」を選択するか、コンピュータのキーボードの[F1]を押すと表示されます。

④前記の「設定データの保存と読み込みかた」の②を操作し、編集したデータに新たな名前を付けて保存してください。